



- 明るい部屋や未使用の会議室は消灯を徹底します。



- 空調は場所毎に適切な温度設定とし、未使用箇所は停止します。



- 玄関や職員通用口のドアは、きちんと閉めて冷気流入を防ぎます。



- 夕方以降はブラインドやカーテンを、閉めて暖気を逃がしません。



- エアコンのフィルターは、2週間に1回程度、清掃しましょう。



- 冷凍冷蔵庫の冷やしすぎに注意しましょう。



- 暖房便座、温水洗浄便座の温度設定を少し下げ、不使用时はフタを必ず閉めましょう。



- デマンドコントロールシステムで、平成22年度冬期比 5%設定。

→ピークデマンド【上限値：117kw】

→使用量【月別に 5%目標】

平成26年度  
節電目標 平成22年度冬期比 5%

平成25年度  
節電実績 平成22年冬期間ピーク比で  
4.0%

### まずは基本アクションをお願いします

建物全体に対 実行  
する節電効果 チェック

照明	・事務室の照明を半分程度にする。	%	
	・居室以外のエリアの照明を間引きする。	%	
	・明るい場所、使用していないエリアは、消灯を徹底する。	1%	✓
空調	・使用していないエリアは空調を停止する。	1%	✓
	・居室、廊下、事務室等エリア毎に適切な温度設定を行う。	1%	✓
	・夕方以降はブラインド、カーテンを閉めて、暖気を逃がさないようにする。	1%	✓
	・必要がない場合は窓や出入り口の開け放しをしない。	1%	✓
OA 機器	・OA機器の管理を徹底する。PC電源管理は省電力モード設定とする。	0.1%	✓
	・PC、PR等を使用しないときは、スリープモードまたは電源オフにする。	0.1%	✓

### メンテナンスや日々の節電努力もお願いします

建物全体に対 実行  
する節電効果 チェック

照明	・照明機器の定期清掃を行う。	%	
	・従来型蛍光灯のうち、直管型蛍光管をLED照明に交換する。	5%	✓
	・夜間の照明管理の徹底をする。	%	
	・可能な限り天井照明を消灯し、スポット照明を利用する。	%	
空調	・フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)。	1%	✓
	・各種出入り口、搬入口の扉等を必ず閉め冷気流入を防止する。	1%	✓
	・給湯循環ポンプの流量を確認し、流量の削減を徹底する。	%	
	・電気以外の方式(ガス方式等)の空熱熱源を保有している場合は、そちらを優先運転する。	%	
コンセント 動力	・調理機器、冷凍冷蔵庫の設定温度を適正值に(再確認)する。	1%	✓
	・暖房便座や温水洗浄便座の温度設定を少し下げ、不使用時はフタを必ず閉める。	0.5%	✓
	・自動販売機の管理者に冷却停止時間の延長等の協力を求める。	1%	✓
	・電気製品の待機電力を削減する。	%	
	・エレベーターが複数台ある場合、日中は一部停止する。	%	
	・消費電力の大きい電気製品は平日の日中を避けて使う。	%	
	・ウォームビス対策の徹底。	1%	✓

デマンドコントロールシステムで  
平成22年度冬期間ピーク比 5%設定し自動調整

5% ✓

### 職員及び利用者への節電の啓発

実行  
チェック

節電 啓発	・節電リーダーを選出し、施設長と全部門が出席したフォローアップ会議等を定期的に実施して、具体的な取組みを効果的に行う。	✓
	・施設全体の節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し実施する。	✓
	・朝礼時に毎回節電のアナウンスをして意識付けを行う。	

ご注意 ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。  
・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上等不適切なものとならないようにご注意下さい。